

令和4年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、来たる大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

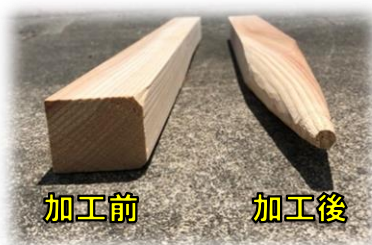
「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

漏水修繕訓練(木栓による止水)を実施しました

令和4年5月12日(木)及び同年5月19日(木)におきまして、**木栓(※)**を使用した漏水修繕訓練を実施いたしました。

具体的には、漏水している水道管に木栓を直接打ち込み、応急的に止水する作業となります。災害や事故時など、急を要する場合に有効な手段となります。

(※)本訓練にて使用した木栓とは、幅が4cm四方、長さ50cm程度の角材先端を、直径13~20mmに加工した漏水修繕用の木材のことを言います。「実動班」では、木栓の加工段階から訓練を行っております。



- ・ 上尾市上下水道庁舎敷地内にて全体説明(木栓の有効性や作業の注意点を解説)。
- ・ 次頁以降に実際の作業状況を掲載しています。

漏水修繕訓練の作業工程



① 漏水箇所の確認



② 全体重をかけて木栓の差し込み



③ ハンマーで木栓の打ち込み



④ 応急止水完了
(最終的に木栓を切断し止水箇所を養生)

多くの実働班員が訓練を実施しました

- ・ 総勢16名(8組)の実働班員が訓練を実施

